

教員採用試験

合格力育成ゼミ

合格力育成ゼミでは、教採でよく出題される問題を厳選収録しています。頻出問題を繰り返し解いて、知識の定着を図りましょう。毎月の勉強のペースメーカーとして当コーナーを活用し、実力をメキメキとつけていってください。

【特別講座】 論作文 129

【教職教養】 教育原理・教育史 136

教育法規 140

教育時事 144

学習指導要領 147

教育心理 150

【一般教養】 人文科学 153

社会科学 157

自然科学 161

【専門教養】 小学校全科 166

小学校外国語活動 175

中学社会 176

高校日本史 180

高校世界史 182

高校地理 184

高校政治・経済 186

高校倫理 188

中高数学 190

中学理科 194

高校物理 196

高校化学 198

高校生物 200

高校地学 202

中高音楽 204

中高美術 206

中高家庭 208

中高保健体育 210

養護教諭 212

特別支援教育 214

中高英語 216

中高国語 219

特別講座 ● 論作文

年間スケジュール

監修 鈴木一男 (元東京都教職員研修センター教授)

	Part.1 論作文添削	Part.2 学習のポイント
9月号	「生きる力」の育成 「生きる力」は、これからの変化の激しい社会を子どもたちが自立的に生きるために必要な力です。あなたは「生きる力」をどのようにして育みますか。子どもたちの現状を踏まえ、具体的に述べなさい。	論作文に求められるもの
10月号	「確かな学力」の育成 これからの社会を生きる子どもたちに「確かな学力」の育成が求められています。あなたは授業で「確かな学力」を育成するために、どのような指導を行いますか。子どもたちの現状を踏まえ、具体的に述べなさい。	「具体的に」とは
11月号	規範意識の向上 近年、児童生徒の生活や行動に様々な問題が生じていますが、その原因として規範意識の低下などが考えられます。あなたは児童生徒の規範意識を向上させるため、どのような指導を行いますか。具体的に述べなさい。	道徳教育の充実
12月号	信頼される教師 子どもや保護者から信頼される教師であることは大切なことです。あなたは、どのような教育指導を行うことで、信頼される教師となることを目指しますか。具体的に述べなさい。	言語活動の充実
1月号	個に応じた指導 学校という集団教育の場で、個に応じた指導が求められています。その背景を踏まえ、あなたはどのように個に応じた指導を行いますか。具体的に述べなさい。	体験的な活動の充実
2月号	情報教育 情報化が進む中で、情報教育の重要性が高まってきています。背景も踏まえ、児童生徒に必要な情報教育をあなたはどのように行いますか。具体的に述べなさい。	家庭・地域との連携
3月号	魅力ある授業 児童生徒にとって魅力ある授業とはどのような授業でしょうか。あなたは担当する教科科目でどのような魅力ある授業を行いますか。具体的に述べなさい。	学習評価の改善
4月号	生徒指導 社会の変化とともに、多様で深刻な教育課題が生じています。生徒指導の役割を考え、子どもの状況を踏まえ、あなたはどのように生徒指導に取り組みますか。具体的に述べなさい。	キャリア教育の充実
5月号	「豊かな心」の育成 社会の変化が進む中で、「豊かな心」をはくむ指導の充実が求められています。あなたは、どのような指導を行い「豊かな心」を育成しますか。具体的に述べなさい。	学校安全・危機管理
6月号	学習意欲の向上 子どもたちの学習意欲の向上が求められています。あなたはその背景を踏まえ、学習意欲を向上させるためにどのような指導を行いますか。具体的に述べなさい。	特別支援教育の充実
7月号	いじめ防止の指導 いじめが大きな問題となっています。いじめはどの学校にも起こり得ることを踏まえ、あなたは、いじめの防止やいじめ問題解決のために、どのような指導を行いますか。具体的に述べなさい。	教師に求められる資質・能力
8月号	「思考力・判断力・表現力」の育成 これからの時代を担う子どもたちに「思考力・判断力・表現力」の育成が求められています。あなたはその育成のために、授業でどのような指導を行いますか。具体的に述べなさい。	学習指導要領のねらい

PART.
2

学習のポイント **学校安全・危機管理**

基本的な考え方

各学校における学校安全に関する活動は、「安全教育」「安全管理」「組織活動」の三つから構成され、また、「災害安全（防災）」、「交通安全」、「生活安全（防犯）」の三つの領域があり、各領域の特性に応じた取組を進める必要がある。

領域	学校における安全教育の主な内容
生活安全	・登下校時における安全 ・携帯電話やインターネット等による犯罪被害防止 ・施設設備の安全と安全な環境づくり 等
交通安全	・道路の歩行、道路の横断時の安全 ・自転車乗車時の安全 ・二輪車の特性理解と乗車時の安全 等
災害安全	・火災防止と火災発生時における安全 ・地震・津波発生時における災害の理解と防災 ・風災害、落雷等の気象災害と防災 等

「いじめ、学校安全等に関する総合的な取組方針」（平成24年文部科学省）で次のように示している。

・学校安全に関する教育を充実する

学校における安全教育は、安全にとって望ましい行動の変容に必要な態度や能力を育てることを目指して教育活動全体を通じて行うものである。このため、日常生活を安全に営むために必要な知識や技能を習得させる安全教育と、それらを実生活に応用し、常に安全な行動がとれるようにしていくための安全指導の充実を図る。

また、学校現場では、学校安全に関する十分な指導時間が確保されにくい現状があることから、国は子どもの安全を守る取組を効果的に行う。

「学校安全の推進に関する計画」（平成24年4月文部科学省）では、Ⅱ 学校安全を推進するための方策 の**1安全に関する教育の充実方策** として、次のように示している。

学校に求められる役割として第一に挙げられるのは、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間など学校の教育活動全体において行われる総合的な安全教育によって、児童生徒等自身に安全を守るための能力を身に付けさせることである。

具体的には、

- i 日常生活における事件・事故、自然災害などの現状、原因及び防止方法について理解を深め、現在や将来に直面する安全の課題に対して、的確な思考・判断に基づく適切な意志決定や行動選択ができるようにすること
 - ii 日常生活の中に潜む様々な危険を予測し、自他の安全に配慮して安全な行動をとるとともに、自ら危険な環境を改善できるようにすること
 - iii 自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全活動に進んで参加し、貢献できるようにすること
- などについて、発達段階に応じて、児童生徒等の能力を育むことが求められている。

更に、危機管理として、危険等発生時対処要領の作成と事件・事故災害が生じた場合の対応を以下のように示している。学校においては、地震災害発生後、安全が確認された後の保護者等への引渡しについては、情報伝達ができないことや保護者等の迎えが不可能な事態を想定し、あらかじめ保護者等との間で災害の規模や状況によって引渡しの基準や条件を決めておくことが必要である。特に、家庭の状況等を把握した上で、保護者等の帰宅が困難になるような家庭の児童生徒等については、学校に留めるなどの事前の協議・確認を保護者等の間で行っておくことが望まれる。

論作文募集中

- 要項 **・横書き400字詰め原稿用紙2枚**
・封筒の表書きに「〇月号分」と明記
・別紙に住所／氏名(ふりがな)／年齢／性別／職業(大学生の場合は大学名も)／志望県・志望校種・教科／電話番号／E-mailアドレスを明記
- 締切 **7月号 4月10日(日)**
8月号 5月10日(火) ※テーマはP129をご参照ください
- 送付先 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-5
協同出版株式会社 「教職課程」論作文係

監修者 ● 略歴

鈴木一男(すずき・かずお)
東京都立学校教諭、都立教育研究所指導主事・統括指導主事・部長、東京都立学校校長、東京都教職員研修センター教育経営課教授を務め平成21年退職、法政大学理工学部・生命科学部兼任講師を平成25年退職まで10年間務める。
文部科学省中学校学習指導要領(理科)作成協力者、同省高等学校「総合理科」指導資料作成協力者、法務省人権擁護委員などを歴任。

